

年末年始のお知らせ

令和4年12月29日(木)から令和5年1月3日(火)まで
年末年始のため休館します。

12月15日(木)から12月28日(水)までに貸出する本は、貸出期間を延長しています。
利用者カードに印字されている返却期限をご確認ください。



好評企画！新年の運試しにいかが？ 12月24日(土)～1月9日(月・祝)

本の福袋

【児童向け】図書館3階

どんな本が入っているか
お楽しみみの3冊セット。

一行で選ぶ！ブラインドブック

【一般向け】図書館3階

表紙もタイトルもわからない。本から抜き出した
一文だけが、本を選ぶヒントです。

【申込締切 12月15日】

子ども司書養成講座

文化フォーラム春日井 文化活動室

1月29日(日)、2月5日(日)、
2月12日(日)(3回連続講座)

市内の小学校4年生～6年生が対象。
くわしくはチラシ、HPをご覧ください。

企画展示

鉄道開業150周年

図書館3階

12月17日(土)
～1月22日(日)

2022年は鉄道開業150周年。
鉄道に関する本を展示します。

テーマ展示

徳川家康

図書館3階

1月24日(火)
～2月19日(日)

読書で家康を楽しんで、
大河ドラマを先取り！

便利な自動貸出機・館内検索機使っていますか？

館内検索機で、自分で本の検索・予約！自動貸出機で、自分で貸出！カウンターに並ばなくても
手続きができますので、ぜひご利用ください。使い方がわからない、本が見つからないときは、
職員にお尋ねください。

※グループふじとう・各図書室は、館内検索機のみ設置しています。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、図書館・図書室のサービスの内容が変更になる場合があります。

最新の情報はホームページ等をご覧ください。お問い合わせは、図書館までお問い合わせください。

春日井市図書館 電話：(0568)85-6800

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5丁目44番地 文化フォーラム春日井 3・4階

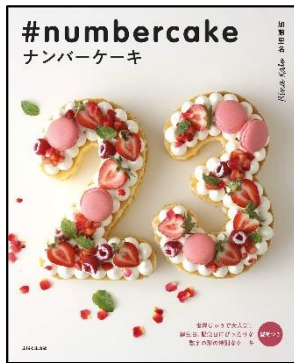
開館時間：午前9時～午後8時 休館日：月曜日(休日の場合はその直後の休日でない日)



おすすめ本紹介

記念日

あなたは、記念日と聞いて何を思い浮かべますか？誕生日、結婚した日、好きな人に告白された日、ペットが家族になった日、好きな芸能人のデビューした日など人によって違うでしょう。今、色々と厳しいこの世の中で元気に過ごせることが何よりの記念日かもしれません。



『ナンバーケーキ』

加藤 里名/著 主婦と生活社 596.6/ナ/19 (図書館 3 階実用)

ナンバーケーキは、数字の形をした生地にクリームを塗って果物などをトッピングしたケーキ。お菓子作りに自信がない人でも、生地にクリームを塗るので失敗を隠せます。不器用な人でも数字の型紙がついているのでアレンジ自在。いつもとは違う記念日を過ごしてみませんか。

『明日は結婚式』

小路 幸也/著 祥伝社

F/シヨ/21 (図書館 4 階一般、ふじとう、高蔵寺)

結婚式を明日に控えた新郎と新婦、その家族を描いた物語。ありふれている一日のようで、家族には秘密がある。ぜひ、どんな秘密があるのか想像しながら読んでください。最後には、温かい気持ちで明日を過ごせます。



『捨て犬未来に教わった27の大切なこと』

今西 乃子/著 青春出版社 645.6/ス/13 (図書館 3 階実用)

心ない人に傷つけられ殺処分が決定していた犬、未来（みらい）。障害は残ったけれど元気に回復して、飼い主と共に学校訪問をして命の大切さを訴えます。

私達は障害があるペットを見ると、かわいそうと思ってしまいがち。でも、未来は明るく毎日を過ごしています。新しくペットを迎える人は読んでみてはいかがでしょう。

おすすめ本紹介

料理で味わう物語の世界

本を読んでいると、お話の中に食事のシーンが登場することがあります。旅の途中だったり、みんなで顔をそろえた時だったり。シチュエーションは違えど、その描写に心惹かれます。作品にいろいろをそえる美味しそうな料理。今回はそのレシピ本を紹介します。

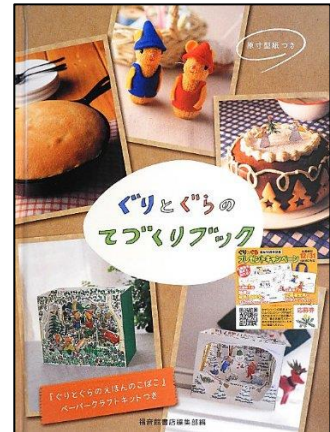
『ぐりとぐらのてづくりブック』

福音館書店編集部/編著 福音館書店
596.6/ク/13 (図書館3階実用・ふじとう)

お料理すること食べることが大好きな のねずみのぐりとぐら。

絵本『ぐりとぐら』にでてくる大きなカステラ。これを食べてみたいと思うのは食いしん坊の私だけでしょうか。ふんわりふくらんだカステラを、焼きたて熱々のうちに食べたーい！ そんな願いが叶うレシピです。

お料理のほかにも、折り紙や人形が作れる型紙もあって、ぐりとぐらを満喫できますよ。



『バルサの食卓』

上橋 菜穂子/著 新潮社 596/八/09 (図書館3階文庫)



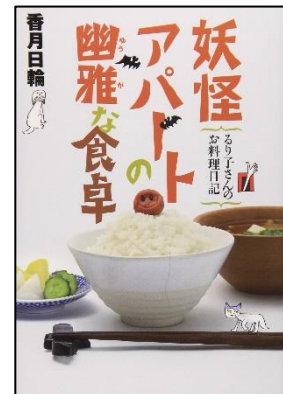
『精霊の守り人』シリーズや『奏者の獣』などに登場する料理を再現。異世界の料理をどうやって！？という心配をよそに、チーム北海道の皆さんが身近な食材で見事なレシピを作ってくれました。著者の上橋菜穂子さんは「食べることはリアル」だとおっしゃっています。著者が生み出した異世界であっても、食べるシーンで現実を感じることができたら、本を読んでいる間だけでも物語の世界を生きることができそうです。

どの料理も素朴で、特別ではないけれど、あたたかく心を満たしてくれるようなものばかりです。物語に思いを馳せながら食べてみたら、より深く堪能できるかもしれませんね。

『妖怪アパートの幽雅な食卓』

香月 日輪/原作 講談社
91/コウ/09 (図書館3階実ティーンズ・ふじとう)

『妖怪アパートの幽雅な日常』の主人公・夕土が住んでいるアパートのまかないレシピ。料理人るり子さんの日記とお料理レシピで構成されています。レシピの下にはシリーズ何巻の何ページに登場したかも書かれているので、物語を読みなおすにもぴったり。初めての方は物語本編を読みたくなるかも。るり子さんの愛情と思いやりに溢れた、旬の食材を使った季節感たっぷりの料理。うーん、味わい尽くしたい！



おすすめ本紹介

笑ってちょっと一息

笑うことは心と体にとっても良いそうです。大笑いした後って、なんだかすっきりしますよね。ちょっとした時間に気軽に読めて、思わず笑ってしまう本を紹介します。笑って元気になりましょう。電車やバスの中など、人前で読む時はご注意ください…。



『100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集』

福井県立図書館/編著 講談社

015.2/ヒ/21 (図書館4階一般・ふじとう・グリーンパレス)

図書館では「〇〇という本はありますか?」というような問い合わせがよくありますが、タイトルの覚え違いも多く、利用者さんがお探しの本にたどり着くのに苦労することもあります。中には笑ってしまうような間違いも…。「昔からあるハムスターみたいな本」「へのかっぱみたいな名前の作家の本」って、何のことかわかりますか?

図書館をもっと身近に感じてほしいという願いが込められた本です。

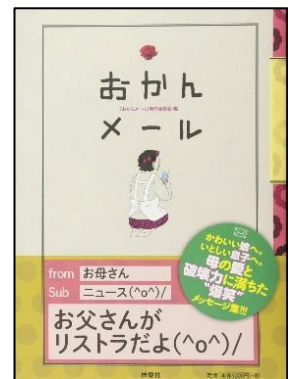
『おかんメール』

『おかんメール』制作委員会/編 扶桑社

049/オ/14(図書館3階実用)

メールに不慣れなお母さんからのメッセージは間違いだらけ! 変換間違いは、計算なのかと思うほどすごい言葉になっちゃってます(笑)。正しくは何と書きたかったのか、想像しながらご覧ください。正解がわかると、なお一層笑いがこみ上げてくることでしょう。それぞれのメッセージからお母さんの人柄もうかがえます。

愛すべきお母さんたちの爆笑メール集。



『思わず考えちゃう』

ヨシタケ シンスケ/著 新潮社

914.6/ヨシ/19 (図書館4階一般・ふじとう・南部)



絵本作家のヨシタケシンスケさんが日々気になったことをスケッチしたものに、解説を加えたエッセイです。ちょっと考えさせられるような場面あり、クスッと笑える場面もあり…。何気ないできごとを深く掘り下げて考える著者の独特なもの見方に、ハッとさせられます。どこから読んでも楽しめる本です。